

# ブナの里

周りの木々が色づきブナの葉が黄色くなり始めた黒松内町ブナの小道の風景

黒松内町ブナセンター 学芸員 斎藤 均 撮影

- |                       |       |
|-----------------------|-------|
| ◆ 2021年度上半期事業計画進捗状況   | P2, 3 |
| ◆ 黒松内つくし園の社会貢献事業と取り組み | P4, 5 |
| ◆ 2021法人行事・敬老会特集      | P6~9  |

2021年度

## 法人事業計画に対する上半期進捗状況

本年度は、新たな中期事業計画・事業方針のもと、法人全体で中長期的なビジョンを共有して運営を行っています。また、6月の役員改選により新たな評議員・理事を迎えるなど、様々な経営課題に取り組んでまいります。

そして、地域福祉の向上ために、社会福祉法人としての役割と使命を果たすため、役職員一丸となつて事業運営に取り組んでいるところです。

新型コロナウイルス感染拡大の終息が見通せない中、医療・福祉施設の現場は依然厳しい状況において、日々奮闘しています。当法人でも感染対策の徹底と使命感を持つて利用者の生命と生活を守るために、役職員一丸となつて取り組んでまいります。

こうした中、当法人における2021年度上半期の取り組み

- (1) **法人事業計画進捗状況**
- ・ 内部・監事監査で利用者サービス計画の整備状況を確認。各施設のサービス計画は概ね適正に実施されている。

は、概ね事業計画に沿って進められています。その主な内容を以下に報告します。

### ○事業方針

\* 法人基本理念・倫理綱領に沿った事業展開を行う。

\* 利用者・職員・地域住民の幸せを実現するため事業を行う。

\* 法人一体経営へ向けた取り組みや本部機能の強化をさらに推進する。

\* 法人事業の再編を継続し、健全経営に向けた事業再構築を行う。

・ 新型コロナ感染拡大の中、施設内での感染症対策を継続。4月から高齢者施設利用者・職員のワクチン接種を積極的に進め、7月には障がい・児童施設でも開始。9月には、ほぼ全ての対象者へのワクチン接種が完了。

・ 旧緑ヶ丘ハイツ建物の有効活用を検討したが、老朽化が著しく改修費用が巨額なため解体する方向で検討中。

・ 法人の積立資産の資金運用を検討し、証券会社を介した有効活用方法を決定。

### (2) 法人事業の再構築

・ 2021年度予算の進捗状況の管理を強化し、2期連続黒字化達成への取り組みを実施。四半期ごとの資金収支ヒヤリングに加え、経営会議で施設整備計画や各拠点経営状況の分析・判断をスピード化を行い、様々な課題とさらなる事業再編に取り組んでいる。

・ 緑ヶ丘ハイツでは、年度当初利用者数が67名と以前厳しい状

況。職員確保を強化し入所利用者数増加を早急に実施するよう、施設幹部職員への周知・理解を進め対策を強化。

・緑ヶ丘老人ホームでは、特定施設入居者生活介護事業の加算体系変更を行い、介護保険収入が増加する結果となつた。

・6月の役員改選により、大代理事長を再任。理事7名・監事2名・評議員9名を選任し、新たな体制で法人運営をスタートした。また、役員等の報酬等支給規程を改訂し、非常勤役員・評議員報酬を月額報酬とした。

(4) 人材確保と職員育成

・人材確保では、4月新卒採用6名でスタート。9月末までで17名の中途採用があり、22名が退職となつた(9月30日現在職員数515名)。

・人材センターと法人本部人事部門による職場ガイダンス、オンライン面接への取り組みを強化し、新卒者・中途採用者の確保を図っている。9月末現在、2022年4月採用者は3名(大卒2名・高卒1名)で、うち1名がマイナビサイトからの採用となつてている。

・新型コロナ禍で採用活動は難用となつていている。

しい中、マイナビ中途採用向けサイトの活用を検討実施した。また、マイナビサイト上にブログを掲載し、法人の取り組みや行事等の情報発信を積極的に行つてている。

・外国人介護人材の確保として、ベトナム人技能実習生3期生10名の採用を内定。コロナ禍のため入国できていないが、入国情限が解除され次第、雇用開始となる予定。特定技能力カンボジア人は3名の採用を予定。9月カンボジア大学卒業者の面接を実施予定。

・コロナ禍で職員の研修参加が難しい中、WEB研修システムを活用し、各施設・職員がオンラインにて研修を受講してスキルアップに繋げている。

(5) 職員の待遇改善への取り組み

・待遇改善手当・特定待遇改善手当支給の実施。昨年度と同額の手当支給を行うこととして、現場職員の待遇改善への取り組みを継続実施。

・適切な労務管理と業務・労働環境改善へ向けて、勤怠管理システムの稼働を各事業所で実施して取り組んでいる。

・湯の里・黒松内で介護ロボットは継続。奨学金5万円を町内高

ト導入事業の実施を決定。職員の負担軽減と利用者サービス向上への取り組みをさらに検討・実施する。

(6) 法人本部機能強化の推進

・内部統制のための規程整備・仕組みづくり等をさらに推進。内部委員会・会議等の統廃合や体制変更等を実施し、組織規程別表を更新した。

・法人人事・給与システムの運用一本化へ向けて、本年度から勤怠管理システムの本格的な導入・運用を開始。事業所による勤怠管理・集計の試行を行い、細部での調整等を行つてている。

・法人内情報系システムを契約更新し、クラウド版に移行。規程と法人内ルール・各事務様式の提供の他 電子裏議等の活用方法の検討を進めている。

・法人本部機能強化の推進として、人事・財務・総務各部門で業務改善の取り組みを強化。設事業進捗状況や内部統制プロセス等の点検を行い、監事監査にて適切に報告。

(7) 地域貢献事業の推進

・各施設の行事等は、感染対策を強化して利用者のみ参加で実施している。

・保育園児童送迎の試行運転を5月まで行い、父兄や町教育委員会・社協等と検討を重ねた結果、7月より社会貢献事業として、町内の通園困難世帯に向けて本運行をスタート。運転手を採用し、同乗は黒松内町社協ボランティアに委託。平日の毎日朝夕2回送迎を実施している。

・黒松内保育園の新規社会貢献事業として、子育て一時預かりサービス「さんさんルーム」を4月より開設。保育園に入園していない児童の家庭と、教育で入所している家庭が対象で、保護者が短期間の保育が必要な時に利用できるサービスとして、通院等で子どもを預ける際などに利用されている。

・慶和園在宅要介護者受入事業は、整備事業を完了して体制を整え、北海道の要請により事業を行う(9月末現在未実施)

## 黒松内保育園で園児の送迎サービスをスタート

認定こども園黒松内保育園では、町内の遠方で通園が困難な世帯や保護者の出産前後などにより送迎が困難な世帯を対象に、社会貢献事業として通園の送迎サービスを開始しました。



遠方地区の要望により今年3月から5月まで試行運転をスタート。試行運転後に、保育園に通園している全家庭にアンケートを行い、送迎に対する意見や送迎の利用希望を確認しました。その上で、法人の社会貢献事業として実施することを決定し、

7月1日より本格的に始動しました。専属運転手を採用し、黒松内町社会福祉協議会の協力を得て、見守りボランティアとして6名の方が交代で乗車しています。送迎料金は、1日の利用で100円と設定して行っています。

送迎車両には利用年齢に合わせたチャイルドシートを取り付けており、送迎時には子どもの好きな音楽をかけてボランティアが見守り、安心した雰囲気の車内で過ごしています。



## 黒松内保育園預かり保育サービス「さんさんルーム」開設

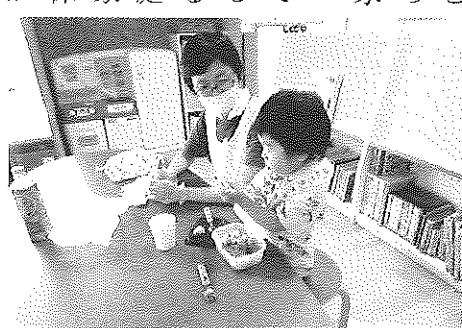
認定こども園黒松内保育園では今年度より、お子さんを一時的に預かりする「子育て一時

預かりサービス「さんさんルーム」を4月より行っています。

保育園に入園していないお子さんをお持ちのご家庭と、

教育で入所しているご家庭が対象で、保護者が

短時間や短期間保育園へ預けることが必要な時に利用して頂くサービスです。



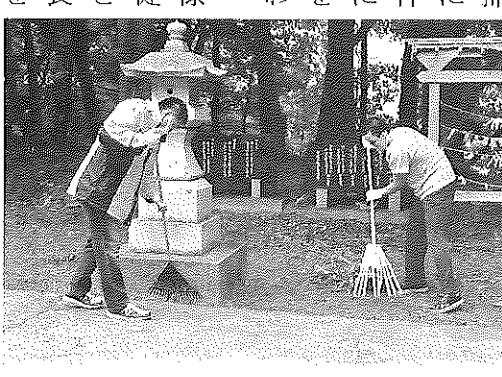
子育て支援センターを利用してされているご家庭に、ご案内したことところ、4月より定期的に利用されたり、保護者が通院等で外出する際に

利用されたりしています。

スタートして半年ですが、今後も保護者の皆さんのニーズに寄り添つて、安心して利用して頂けるように努めてまいります。

## 今年も神社境内清掃 緑ヶ丘老人ホーム

毎年行っております、大鳥神社の境内清掃。地域貢献の一環として緑ヶ丘老人ホーム開設以来続けて参りました。毎年、参加を楽しみにされている利用者もいますが、残念ながら今年は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発出を受け、職員のみで行いました。また、



利用者の方々の健康と长寿を祈願して参りました。

慶和園で「働きやすい職場づくり」を推進

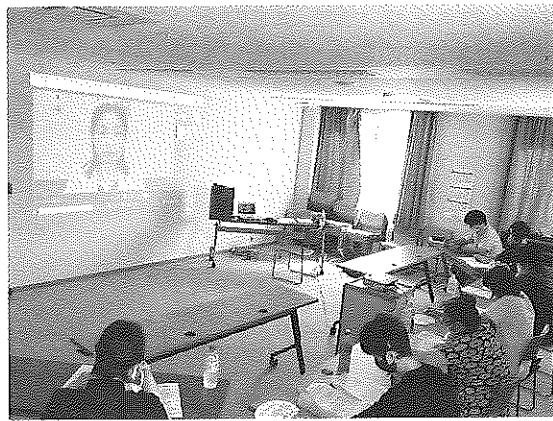
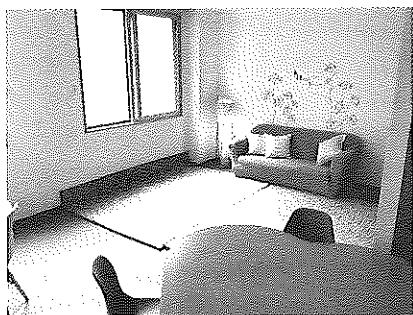
慶和園では、今年度「働きやすい職場づくり（心の健康づくり計画）」の取り組みを行つています。



た。完成したカレンダーを園内の各所に掲示・周知しています。第2弾として、管理職を対象とした「メンタルヘルス勉強会」を開催しました。

北海道産業保健支援センター  
メンタルヘルス対策促進員山岸  
氏を講師に迎え、ＷＥＢによる

関わりを改めて見直すできだとの感想が寄せられまし



研修を担当園副主任以上の職員8名が受講。メンタルヘルスの理解とラインケア（上司による部下への相談支援）の進め方を中心とした理解を深めました。

し、リラックスして休める雰囲気づくりに工夫をこらしました。良い仕事を成し遂げるためには、しっかりと休憩を取ることも必要です。

働きやすい環境は、各職員の心と体の健康から！慶和園では、働きやすい職場づくりの取り組みを今後も継続して進めていきます。

そして、8月には職員休憩室のリニューアル工事を行いました。これまでには、手狭で暗いイメージのあつた休憩室でしたが、隣の部屋との壁を取り壊し、不要な洗面台やトイレを撤去。壁紙クロスもリニューアルしたことで、広く明るいスペースに生まれ変わりました。「できれば靴を脱いで、足を延ばしてゆつの木みたハ」などの意見を採用

## 後志リハビリセンタ で学習会報告

職員のスキルアップを目的に、毎月リハビリセンターでは学習会を開催しています。今年度は口腔衛生管理体制を整え、口腔ケアへの見識を高めるために、



つております。  
今後も  
見識・  
技術を  
高め  
口腔ケア  
でも「プロ」を目指します!

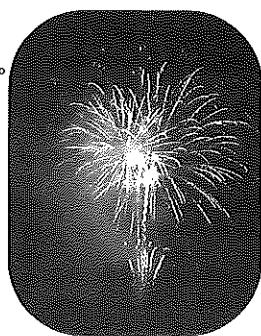
# 各施設行事特集

## 老人福祉施設 慶和園

8月4日、慶和園で「ふれあいの夕べ」を開催しました。

今年も昨年に引き続き規模を縮小して行いましたが、利用者ご家族やボランティアの皆様にご参加いただいたことで、利用者はお祭りムードを堪能しました。参加者は焼き鳥・焼きそば・たこ焼きなどの屋台や大抽選会、盆踊りを楽しみました

当日の夜には、恒例の花火大会を開催。夏の夜空に浮かんだ大迫力の花火に、利用者からも大きな歓声があがりました。



## 黒松内保育園「七夕まつり」

7月7日、子ども達が楽しみにしていた七夕まつりを開催。今年も、ぱんだ組とこあら組が法被を着て、小さいクラスの友達のお世話をしながら「いらっしゃい！」と一生懸命お店の売り手役をしました。子ども達のにぎやかな楽しさと盆踊りの太鼓の音が遊戯室いっぱいに響いた時となりました。



## しりべし学園成人寮「秋の交流会」

9月26日、第4回目「秋の交流会」が体育館にて行われました。感染対策としてしりべし学園、成人寮の男女それぞれの時間を分けての開催となつたため、各棟利用者間の交流をすることはできませんでしたが、皆さんゲートボール、玉入れの2つの競技に笑顔で参加され、楽しんでいる様子でした。利用者が無理なくできる競技を企画したため、以前行われていた運動会を思い出す方もいました。

また、昼食には唐揚げなどのオードブルと、長万部町名物「かにめし」を提供しました。あまり食べる機会のないお弁当だったこともあり、「おいしかった」「珍しかった」などの感想を頂きました。

今回の交流会で見られた皆さんの笑顔をまた見られるよう、職員一同、利用者の支援に精一杯取り組んで参ります。



## 後志リハビリセンター 七夕夏祭り

8月9日に夏の一大イベント七夕夏祭りを開催しました、コロナ禍で外出行事が自粛となっている中で利用者に楽しんで貰えるよう、担当職員を中心に催し物や縁日風の食事を提供しました。利用者の素敵な笑顔が溢れる1日となりました。



# 2021年度 法人

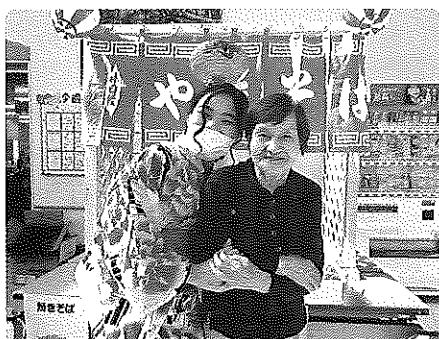
## 緑ヶ丘老人ホーム 味の園遊会

昨年に続き、今年も中庭での開催となりました。コロナ禍でなかなか思うように行事も出来ませんが、年に一度の大行事。当日はお天気にも恵まれ、炭火での焼き鳥や焼ホタテ。かき氷にケーキバイキング等といつもと違う雰囲気で提供。カラオケの余興を楽しみながら、太陽のもと、秋を感じつつ皆様の笑顔あふれる楽しいひと時となりました。来年こそはディサービスとの交流会も兼ね、賑やかに開催できることを期待しています。



## 「湯の里祭り」開催

9月25日に湯の里祭りを開催しました。コロナ禍の中で昨年同様にご家族様、来賓様をお招きする事が出来ませんでしたが、利用者・職員ともに感染対策を十分に行った上で行いました。屋台では職員が作ったお祭り料理を自由に好きなものを食べて頂き、利用者も職員も笑顔が溢れるお祭りとなりました！



## 秋の味覚「やきいも」を満喫 黒松内つくし園

9月18日、つくし園子ども会主催のやきいもを行いました。秋と言えば…そうです食欲の秋です。今回は希望者を募り、やきいもを中庭で行いました。さつまいもを濡れた新聞とアルミホイルで包んで炭の中に入れ焦げないよう何度もひっくり返して作りました。さつまいもだけでなく、ジャガイモやナス、トマト、マッシュマロなども焼いて食べました。出来上がったやきいもは、ホクホクに焼けたものやちょっと焦げてしまったものなど、様々な焼き加減でしたが、みんなで楽しく、おいしくいただきました。



## 緑ヶ丘ハイツ「秋の収穫祭」

以前から聞かれていた利用者からの「季節の食べ物を楽しみたい」という要望。

今回、職員からの食材の提供もあり実現しました。メニューは「イモとカボチャの塩煮」。移転以降眠っていた各フロアのIHコンロの活躍もあり、出来たてを提供できました。各々マーガリンや塩辛などいろいろな味を楽しめ、素材の味やなつかしさに感動する声が多く聞かれ予想以上の盛り上がりを見せしていました。コロナ禍において、ご家族との面会等の制限をさせていただいている中で、少しでも利用者の皆様が楽しめる機会を作れればと思っています。



## 今年は各ユニットでお祭り開催 グループホームつくしんぼ

つくしんぼ・縁両ユニットでは、地域のお祭りがなくても各ユニットでお祭り気分を満喫しよう！と、ハッピなどを着て演出しました。

縁日風にくじ引きや輪投げなどで楽しみながら人形焼きや綿あめ、流しソーメン、キュウリの一本漬けなどを、次々に口に運び「おいしい」と笑顔を見せていました。



# 敬老会特集

## 「園内敬老会」緑ヶ丘老人ホーム

今年度は、105歳を筆頭に8名の方が対象でした。6名が100歳以上、2名の方が米寿。実際に利用者の1割が対象者です。吉田施設長から記念品を贈呈すると会場から大きな拍手に包まれ、お祝いムードとなりました。敬老会は利用者が主役、職員の趣向をこらした余興に大盛り上がり。皆様、ご馳走に舌鼓をうちながら大いに楽しまれていました。笑う門には福来たる。いつも笑って過ごされるよう職員一同、皆様のご長寿をご祈念申し上げます。



## 黒松内町ディ・サービスセンター

今年、米寿を迎えたのは6名の利用者。ご長寿おめでとうございます。

9月20日（月）からの1週間、敬老会週間として米寿の方をはじめ、皆さんのご長寿をお祝いしました。吉田管理者から「お腹の底から笑うことが大切。ディサービスに笑いにこれからも来て下さい。」と、挨拶。

その言葉通り、職員余興は笑って頂けましたか？



【写真のプレゼント】

## 緑ヶ丘ハイツ「敬老会」

緑ヶ丘ハイツの2F副主任の神野です！9月の誕生会兼敬老会では恥ずかしながらギターを演奏させていただきました！利用者の中には涙を流す方、大きな声で歌って下さる方など大変盛り上がったものと個人的には思っております!!!

今後とも少しでも笑顔あふれる時間を提供できるよう努力して参ります！

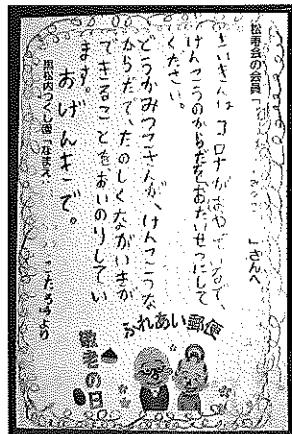
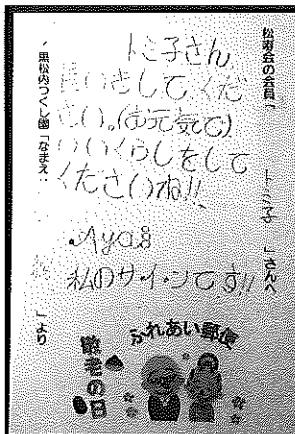


## 敬老の日に「ふれあい郵便」

### 黒松内つくし園

つくし園の小学生が町内のお年寄りにお便りを送りました。

9月20日は敬老の日です。黒松内町社会福祉協議会では敬老の日に合わせ、町内のお年寄りに子ども達からメッセージが届く、「ふれあい郵便」を行っています。毎年当園の小学生が依頼を受けてお年寄りの皆さんにお手紙を書いています。今年も小学生達が新型コロナウイルス感染への注意や長寿を願う、個性あふれる心のこもったはがきをお年寄りの皆さんに送りました。おたよりを書いた小学生は「コロナウイルスに感染しないよう気を付けて長生きしてほしいです」と話してくれました。



# 2021年度 法人

## 老人福祉施設 慶和園

9月17日、慶和園で敬老会を開催いたしました。コロナ禍の中、昨年同様、感染症対策を講じながらの開催となりましたが、会場の飾りつけや料理、余興には全職員からの感謝の気持ちを込めさせていただきました。余興ではカンボジア、ベトナムからのスタッフ4名による各国の踊りが披露され、利用者の皆さんに大変喜ばれました。

来年の敬老会ではコロナも終息し、ご家族も含めてお祝いができたら良いですね。



## 泊村老人ホームむつみ荘

昨年度同様、コロナ禍により施設全体でのお祝いの会は実施せず、各ユニット内でのお祝いとなりました。

百寿と米寿を迎える方に総理大臣並びに泊村長からの賞状と祝い品が贈呈されました。

敬老の日の当日は、お赤飯など「敬老の日のお祝膳」が振舞われ、各ユニットで末永い健康長寿を祈念しながらお祝いしました。また、職員が丹精込めて作ったケーキでお茶会を開催し、盛況のうちに終えることができました。

新型コロナの終息を祈念しつつ、来年も利用者の皆さんのが、健康で敬老の日を迎えることが出来るよう職員一同お祈り申し上げます。



## 湯の里・黒松内「敬老会」

今年は米寿2名、卒寿4名、白寿1名、百寿1名、最長寿1名の9名のお祝いを行いました。鳴副施設長から一人ひとりにお祝いの言葉とお祝いの品を贈られました。技能実習生2名も振袖を着て敬老会の雰囲気を盛り上げました。

これからも利用者に笑顔溢れる生活を送って頂けるよう、職員一同努めていきたいと思います。



## 今年も各ユニットで敬老会開催 グループホームつくしんぼ

今年も各ユニットに分かれて、9月15日に敬老会を開催しました。大代理事長と大迫施設長から「これからも健康で長生きして下さい」と米寿と喜寿の皆さんに花束が渡されました。食事は複合施設「喫茶陽だまり」で作ったオードブルや茶碗蒸し、フルーツの盛り合わせや、グループホーム職員手作りの海鮮丼などを美味しく味わいました。また、特定技能職員のシアク・スレイベッチさんが、カンボジアでのお祝い事に着る衣装を身に纏い、華麗なる舞も披露。入居者の皆様全員がお祝いとなつた1日でした。



## ご厚志に心から感謝申し上げます

(令和3年6月1日から8月31日まで)敬称は略させていただきます。また、常勤役職員からのご厚志については、お名前を控えさせていただきます)

武田宏、芹田孝雄、佐々木暁、木村清美、片桐澄子、高橋克之、黒松内つくし園後援会、広瀬忠春、黒松内郵便局、松田政敏、鈴木晶子(以上黒松内町)、藤井里美(島牧村)、金子光司(寿都町)、大迫克司(蘭越町)、小山清治、戸室ナミ(以上長万部町)、南京極郵便局、永江涼子 姉妹一同、紅寿司、サロンドシエル、(有)山中板金工業所、菊地歯科医院、京極調剤薬局、京極町、慶和園利用者親睦会、藤波秀博、(株)中村組、南京極町内会、林美裕喜(以上京極町)、(有)俱知安運輸、(有)俱知安オイル、山田英男(以上俱知安町)、日本ガード株、あいおいニッセイ同和インシュアランスサービス、梨羽小百合(以上札幌市)

法人会務の運営状況 (2021年7~9月開催分)	
◆7月13日	施設長・副施設長会議
◆7月23日	内部監査
◆7月27日	
◆7月30日	監事監査
◆7月30~8月3日	資金収支ヒアリング
◆8月5日	虐待防止委員会
◆8月10日	施設長・副施設長会議
◆8月10日	苦情解決委員会
◆8月23日	第424回 理事会
◆8月25日	広報委員会
◆8月26~27日	あすの監査法人期中往査
◆8月31日	業務改善委員会
◆9月14日	施設長・副施設長会議

## しりべし学園成人寮の花苗を町民に無料配布

7月2日、3日に黒松内町でしりべし学園成人寮が提供した花苗の無料配布が行われました。多くの町民が役場特設会場に訪れ、それぞれお気に入りの花を持ち帰りました。

この苗は、しりべし学園成人寮で毎年行われていた「ふれあい祭り」がコロナ禍で今年も中

止となり、目玉企画として花の無料配布を行う予定だった花苗2,000株を黒松内町フラワーリー推進協議会に寄贈しました。花苗の無料配布は昨年に引き続き今年で2回目となり、マリ

ー・ゴールドやサルビアなど色とりどりの花が、同協議会を通じて町民に配布されました。

